

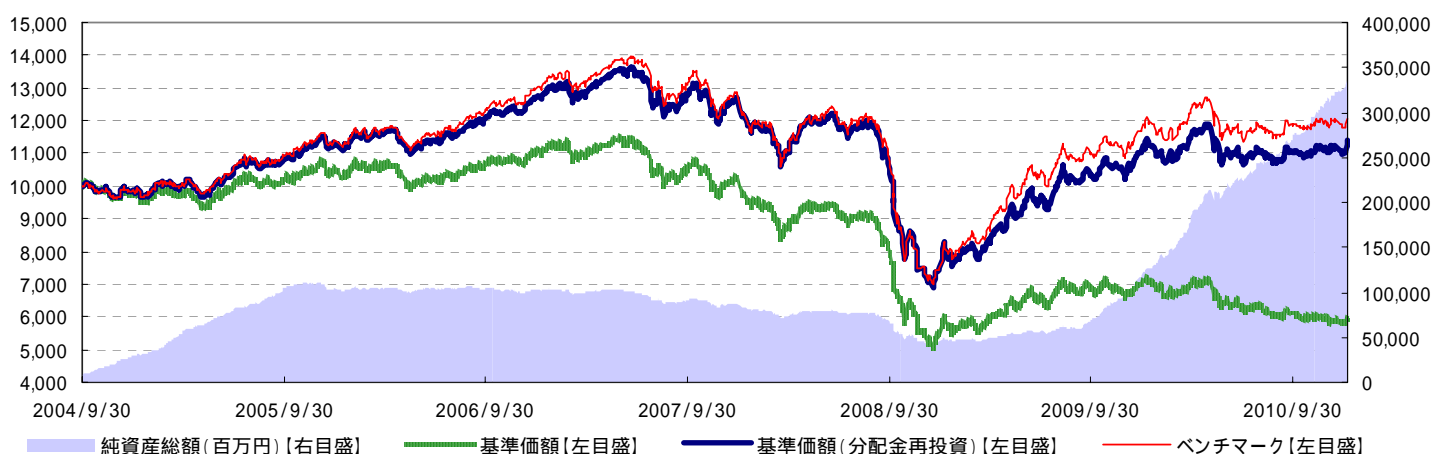
ピムコ・グローバル・ハイールド・ファンド(毎月分配型) 第75期分配金のお知らせ

追加型投信 / 海外 / 債券

平素は弊社商品『ピムコ・グローバル・ハイールド・ファンド(毎月分配型)』をご愛顧賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、この度当ファンドは1月7日に第75期決算を迎え、当期の分配金を1万口当たり85円(税引前)といたしましたことをご報告申し上げます。設定から第75期決算までの分配金累計は1万口当たり5,236円(税引前)、当期末の基準価額は分配落ち後で5,825円となっております。

基準価額の推移 (期間:2004年9月30日(設定日)~2011年1月7日)



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日、ベンチマークは設定日翌営業日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.47%(税抜1.4%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。

ベンチマークはBofAメリルリンチ グローバル・ハイールド・インデックス(BB - B、円ベース)です。
BofAメリルリンチ グローバル・ハイールド・インデックス(BB - B、円ベース)とは、BofAメリルリンチ社が算出するグローバルベースの高利回り債券の値動きを示す代表的な指数を円換算したものです。

分配金実績(税引前) (期間:第40期(2008年2月7日)~第75期(2011年1月7日))

設定来累計					
5,236 円					
第75期 (11/01/07)	第74期 (10/12/07)	第73期 (10/11/08)	第72期 (10/10/07)	第71期 (10/09/07)	第70期 (10/08/09)
85 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円
第69期 (10/07/07)	第68期 (10/06/07)	第67期 (10/05/07)	第66期 (10/04/07)	第65期 (10/03/08)	第64期 (10/02/08)
100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	100 円
第63期 (10/01/07)	第62期 (09/12/07)	第61期 (09/11/09)	第60期 (09/10/07)	第59期 (09/09/07)	第58期 (09/08/07)
100 円	100 円	100 円	100 円	100 円	66 円
第57期 (09/07/07)	第56期 (09/06/08)	第55期 (09/05/07)	第54期 (09/04/07)	第53期 (09/03/09)	第52期 (09/02/09)
66 円	66 円	66 円	66 円	66 円	66 円
第51期 (09/01/07)	第50期 (08/12/08)	第49期 (08/11/07)	第48期 (08/10/07)	第47期 (08/09/08)	第46期 (08/08/07)
66 円	66 円	66 円	66 円	66 円	66 円
第45期 (08/07/07)	第44期 (08/06/09)	第43期 (08/05/07)	第42期 (08/04/07)	第41期 (08/03/07)	第40期 (08/02/07)
66 円	66 円	66 円	66 円	66 円	66 円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

- ・上記グラフ・表は過去の実績および作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- ・また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・基準価額および分配金は1万口当たりです。

当資料の「注意事項等」の内容を必ずご覧ください。

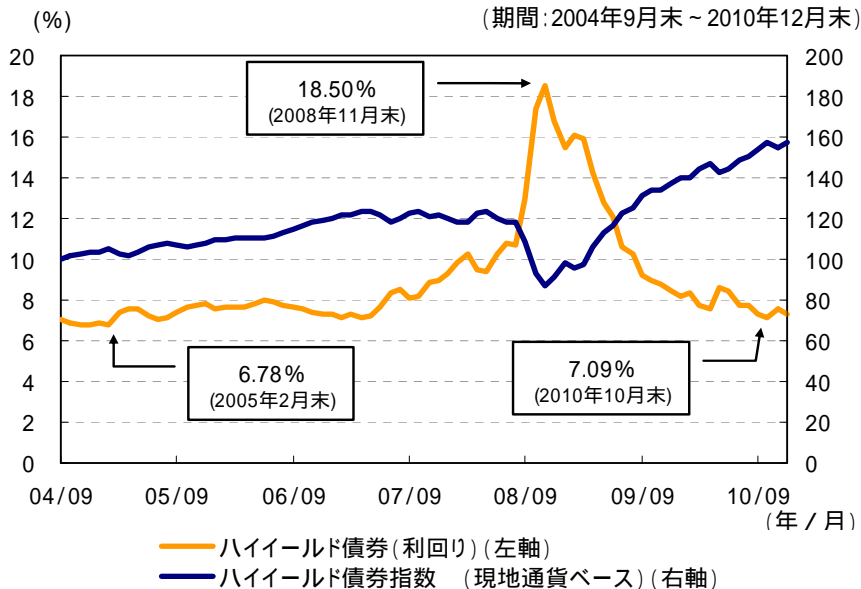
ピムコ・グローバル・ハイールド・ファンド(毎月分配型) 第75期分配金のお知らせ

Q1:なぜ分配金が引き下げられたのですか？

主にハイールド債券の利回りの低下と円高などが要因です。

債券利回り低下(価格は上昇)

<(図表1)ハイールド債券の利回りと同指数の推移>



2004年9月末=100として指数化しております。

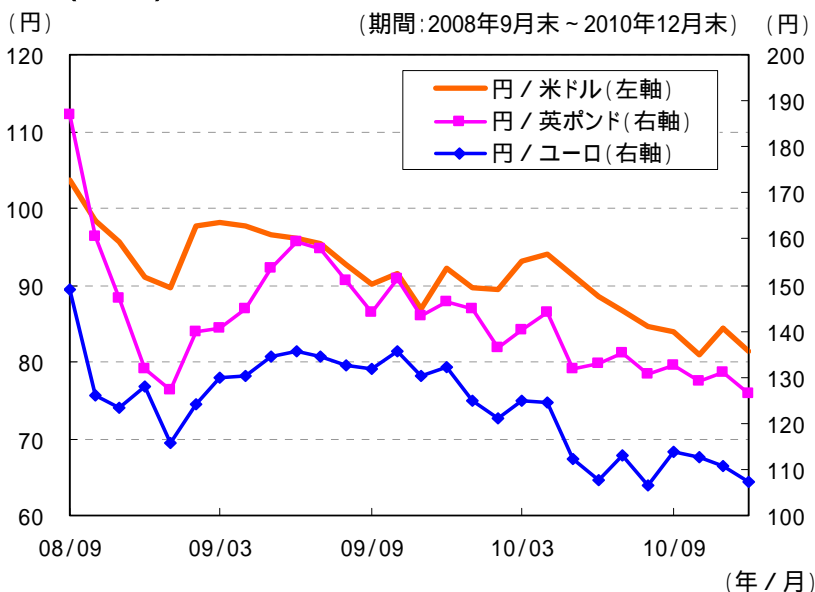
ハイールド債券: BofAメリルリンチ グローバル・ハイールド・インデックス(BB-B)

(出所) BofAメリルリンチ社のデータより三菱UFJ投信作成

リーマンショック当時はリスク回避姿勢が鮮明になり、ハイールド債券の利回りは急騰(債券の価格は急落)しました。その後、過度なリスク回避姿勢が和らいだ投資家は、利回りが低下した主要国の国債よりも、ハイールド債券(高利回り債券)を選好する傾向を強めており、ハイールド債券の利回りは低下(債券の価格は上昇)しております。

円高傾向の継続

<(図表2)主要国通貨の推移>



(出所) ブルームバーグ社のデータより三菱UFJ投信作成

2008年の世界的な金融不安以降、景気および金融マーケットの先行きに対する不透明感が広がったことから、相対的にリスクが小さいと見られる円を買う動きが強まり、世界の主要な通貨に対して円高となっております。

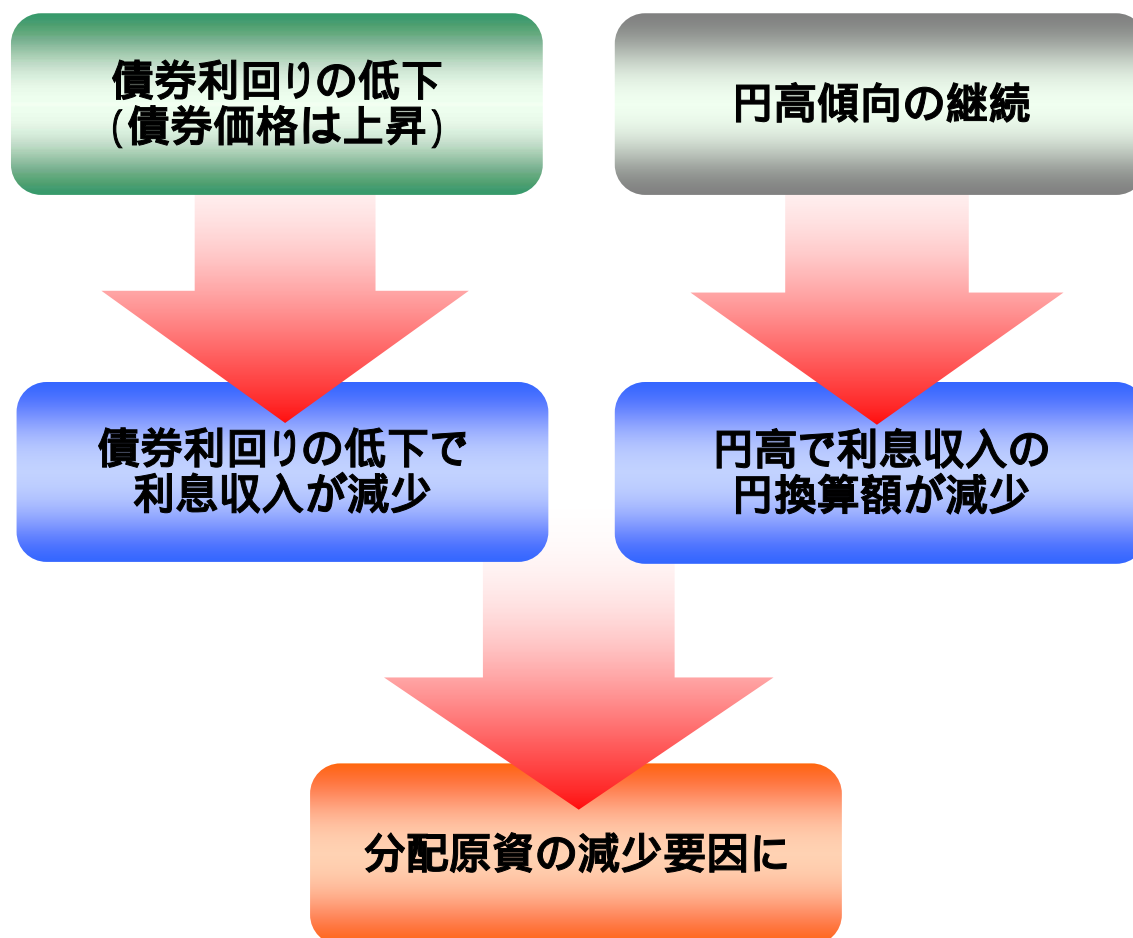
・本見通しないし分析は作成時点の見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
・上記グラフは過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
・また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
・上記と異なる期間を対象とした場合は計算結果も異なる点にご注意ください。

当資料の「注意事項等」の内容を必ずご覧ください。

ピムコ・グローバル・ハイールド・ファンド(毎月分配型) 第75期分配金のお知らせ

分配原資の減少傾向継続

以上を踏まえ、当ファンドは、分配金の原資のひとつである利息収入の減少が続いており、今後の中長期的な基準価額の安定と利息収入を中心とした分配の安定をめざすため、今般分配金水準の見直しを行い、分配金を1万口当たり85円(税引前)に引き下げることいたしました。



ビムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド(毎月分配型) 第75期分配金のお知らせ

Q2:ハイイールド債券や外国為替市場の今後の見通しはどうでしょうか？

先進国では財政状況の悪化が深刻な問題となりつつあることや、雇用が伸び悩んでいること等が重石となり、本格的な景気回復にはまだ時間を要すると考えます。しかし、足下では金融・経済危機を経てコストカットや在庫調整に取り組んできた企業の業績は改善基調が継続し、また資本増強やバランスシート調整など、財務基盤の強化に向けた取り組みも行われてきました。その過程で、企業は満期を迎えた債務を長期債へと借り換えていることから、当面の間借り換えリスクは抑えられ、債務不履行率は低位で推移すると考えています。加えて、米国では金融緩和政策の一環として国債の買い取りが行われていることから、国債の利回りは当面低位で推移するものと考えられます。こうした環境から、ハイイールド債券市況は高い利息収入を求める投資家からの根強い需要に下支えされる可能性があります。これらの要因は、ハイイールド債券投資に当たりプラス材料であると見ています。

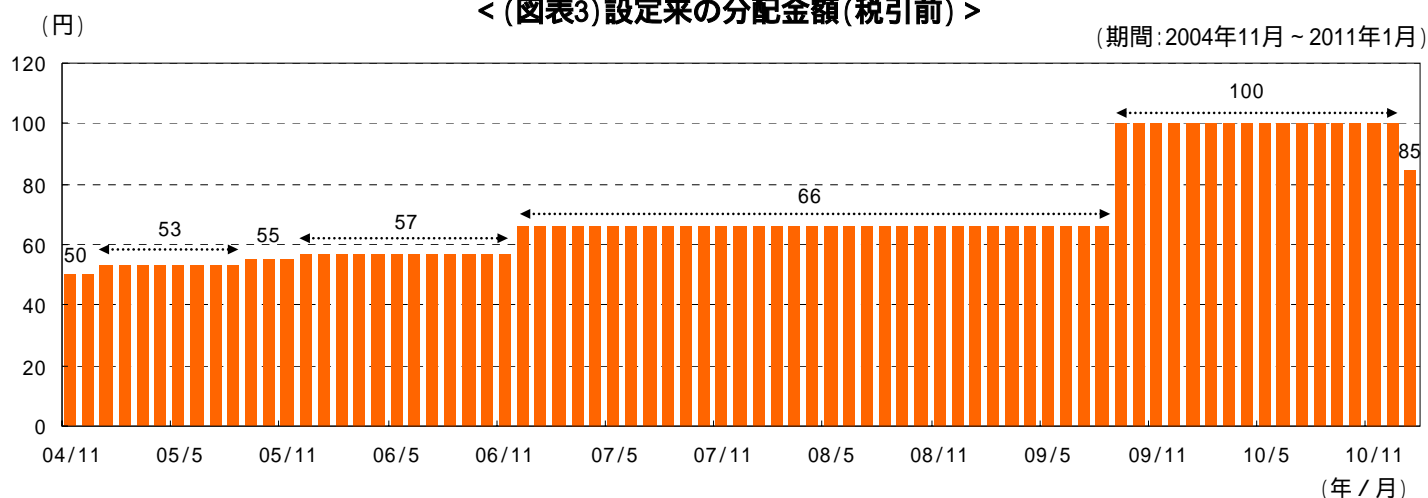
為替相場については、米ドルは中期的には対円で上昇すると予想しています。米国において、2001年、2003年にブッシュ前大統領により実施された減税策が延長されるとともに、追加的な景気刺激策が打ち出される可能性があり、今後は消費者の可処分所得の増加、消費者心理の改善等が期待されます。加えて企業業績が好調に推移していることから、企業側は徐々に設備投資や雇用を増加させるとみられます。このような動きを受けて、米国景気の成長率はしだいに高まり、今年の成長率は潜在成長率を上回る3%以上に達する可能性があると考えています。今年後半以降は、2010年11月のFOMC(米連邦公開市場委員会)で決定された国債の買い取りが終了することもあり、米国金利が上昇し、日本との金利差が拡大する可能性があること、日米景況感格差などを材料に、為替市場では円安・米ドル高基調に転じると予想しています。

Q3:今後、分配金はどのようになるのでしょうか？

今後の分配につきましては、引き続き、分配水準の安定性に配慮しながら、分配方針に従って分配金を決定させていただきます。

当ファンドの分配は、利子等収益および債券の値上がり益の合計額および過去の収益の繰越分(分配を行わなかった分)などを収益分配原資として使います。したがって、これらの状況の変化により分配金は下がることも上がることも考えられます。また、運用状況によっては分配金が支払われない場合もあります。様々な要因により分配原資総額は変化いたしますので、将来の分配金額については、あらかじめ一定の額をお約束できるものではありません。

< (図表3) 設定来の分配金額(税引前) >



- ・本見通ししないし分析は作成時点の見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- ・上記グラフは過去の実績および作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- ・また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・基準価額および分配金は1万口当たりです。

今後とも引き続き、「ビムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド(毎月分配型)」をご愛顧いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

ビムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド(毎月分配型)

ファンドの目的・特色

ファンドの目的
世界各国のハイイールド債券を実質的な主要投資対象とし、相対的に利回りの高い社債等へ分散投資することにより、高い利子収入の獲得をめざします。

ファンドの特色

- ・主として円建ての外国投資信託であるビムコ ケイマン グローバル ハイ インカム ファンドおよび証券投資信託である短期資産マザーファンドの投資信託証券への投資を通じて、世界各国の国債、政府機関債、社債、モーゲージ証券(MBS)、資産担保証券(ABS)等に実質的な投資を行います。
 - ・BofAメリルリンチ グローバル・ハイイールド・インデックス(BB - B、円ベース)をベンチマークとします。
 - ・実質的に投資する社債は、原則として取得時においてB - 格相当以上の格付を有しているものに限るものとし、ポートフォリオの実質的な平均格付は原則としてB - 格相当以上を維持します。
 - ・ポートフォリオの実質的な平均デュレーションは原則としてベンチマーク±2年以内で調整します。
 - ・実質的な組入外貨建資産については、原則として、為替ヘッジを行いません。
 - ・運用指図に関する権限は、ビムコジャパンリミテッドに委託します。
 - ・毎月の安定分配をめざします。
- < 主な投資制限 >
- ・投資信託証券への投資割合に制限を設けません。
 - ・外貨建資産への直接投資は行いません。

投資リスク

基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。
したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。
ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

市場リスク

(価格変動リスク)

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

(為替変動リスク)

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

ファンドは、格付けの低いハイイールド債券を主要投資対象としており、格付けの高い公社債への投資を行う場合に比べ、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

その他の留意点

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。
また、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

委託会社(ファンドの運用の指図等)	三菱UFJ投信株式会社
受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)	三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社(購入・換金の取扱い等)	後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用	三菱UFJ投信株式会社
金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第404号
加入協会	(社)投資信託協会
	(社)日本証券投資顧問業協会

ビムコ・グローバル・ハイールド・ファンド(毎月分配型)
手続・手数料等
お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 / 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	1万口単位または1口単位のいずれか販売会社が定める単位 / 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額 - 信託財産留保額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日、その他ニューヨークにおける債券市場の取引停止日は、購入・換金のお申込みができません。2011年の該当日は1月17日、2月21日、4月22日、5月30日、7月4日、9月5日、11月11日、11月24日、12月26日です。なお、休業日および取引停止日は変更される場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	無期限(2004年9月30日設定)
繰上償還	受益権の口数が30億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。
決算日	毎月7日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。

ファンドの費用・税金
・ファンドの費用
【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】
お客さまが直接的に負担する費用

購入時	
購入時手数料	購入価額 × 3.15% (税抜 3%) (上限) / 販売会社にご確認ください。
換金時	
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額 × 0.3%

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	
運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額 × 年1.47% (税抜 年1.4%) ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用 (信託報酬) はかかりませんので、お客さまが負担する実質的な運用管理費用 (信託報酬) は上記と同じです。
その他の費用・手数料	売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

運用管理費用 (信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料 (監査費用を除きます。) は、その都度信託財産から支払われます。

購入時手数料、運用管理費用 (信託報酬) およびその他の費用・手数料 (国内において発生するものに限り) には消費税等相当額が含まれます。お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。詳しくは投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。 / 販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。 / 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。 / 投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書 (交付目論見書) 等の内容を必ずご確認ください。 / 投資信託をご購入の際は、必ずご確認ください。

当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料です。 / 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。 / 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。 / 当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

(ご購入の際には、必ず投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。)

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**
受付時間 / 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・12月31日 ~ 1月3日を除く)

< オフィシャルサイト > <http://www.am.mufig.jp/>
< モバイルサイト > <http://k.m.muam.jp/a/1/3>
基準価額・分配金をメール配信 (*メール配信対象外ファンドもあります。)



販売会社情報一覧表

ファンド名称: ピムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド(毎月分配型)

商号	登録番号等	加入協会
株式会社 イオン銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	日本証券業協会
株式会社 伊予銀行	登録金融機関 四国財務局長(登金)第2号	日本証券業協会 / (社)金融先物取引業協会
株式会社 SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	日本証券業協会 / (社)金融先物取引業協会
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	日本証券業協会 / (社)金融先物取引業協会
株式会社 紀陽銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第8号	日本証券業協会
株式会社 京都銀行	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第10号	日本証券業協会 / (社)金融先物取引業協会
株式会社 群馬銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第46号	日本証券業協会 / (社)金融先物取引業協会
株式会社 鳥取銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第3号	日本証券業協会
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第134号	日本証券業協会
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	日本証券業協会 / (社)金融先物取引業協会
株式会社 三菱東京UFJ銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	日本証券業協会 / (社)金融先物取引業協会
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号	日本証券業協会 / (社)金融先物取引業協会
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	日本証券業協会 / (社)日本証券投資顧問業協会 / (社)金融先物取引業協会
株式会社 宮崎銀行	登録金融機関 九州財務局長(登金)第5号	日本証券業協会
株式会社 山形銀行	登録金融機関 東北財務局長(登金)第12号	日本証券業協会
楽天銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第609号	日本証券業協会 / (社)金融先物取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	日本証券業協会 / (社)金融先物取引業協会